

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論 I	NSP22_009	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
飯嶋 玲奈 他	405	reina.ijima	水曜日 9:00~13:00		
授業の目的・概要	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における性と生殖の観点から身体・心理・社会的な特徴及び発達を理解し、各時期に応じた健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、健康逸脱時における看護の目的・方法・役割機能について学ぶ。妊娠・分娩・産褥期、新生児期の経過を理解し、各時期の対象におこる変化や適応状態をアセスメントし、母性看護の対象に関わる基本的姿勢と基本的技術を学ぶ。対象とその家族のもつ課題や健康問題について理解し、周産期を正常に経過し、異常に逸脱しないように対象自身のセルフケア能力を活かした援助の基本的知識・技術・態度を修得する。さらに妊娠・分娩の異常、健康を逸脱した褥婦、不妊症、性感染症、更年期障害の看護について基本的知識・技術・態度を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	予習復習を実施し疑問が生じた場合は講義毎のフィードバックペーパーやオフィスアワー等で質問すること。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統看護学講座専門分野 II 母性看護学概論 母性看護学① 第14版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2025</li> <li>・系統看護学講座専門分野 II 母性看護学各論 母性看護学② 第14版/著:森 恵美 他 /医学書院 /2025 [2冊指定]</li> </ul>				
参考書	・ウェルネス看護診断にもとづく 母性看護過程 第3版 /編:太田操 /医歯薬出版 /2017				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における女性の健康とその課題や看護を理解し説明することができる。		NS(2)(4)		
②	妊娠・分娩期・産褥期・新生児期の正常な経過とその看護について説明することができる。		NS(2)(4)		
③	妊娠・分娩期・産褥期・新生児期の健康逸脱とその看護について説明することができる。		NS(2)(4)		
④	産褥期、新生児期にある母子のアセスメント、看護診断を行うことができる。		NS(2)(3)(4)		
⑤	妊娠・分娩期・産褥期・新生児期の看護に必要な技術を理解することができる。		NS(2)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 妊娠の成立、胎児の発育と生理、母体の生理的变化	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
2	妊娠期の心理・社会的特性 妊婦健康診査	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
3	妊婦と家族の看護(母子保健サービスや健康教育) 母子保健に関する社会制度と関連法規	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
4	分娩の要素と分娩経過	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
5	分娩各期の特性と看護	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
6	産褥期の生理(退行性変化・進行性変化)	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
7	新生児の生理	演習	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
8	産褥期の心理・社会的特性 産褥健康診査	演習	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
9	妊娠期の異常	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
10	分娩期の異常	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		
11	産褥期の異常 新生児の異常	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む 4		

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

12	NICU の看護	講義	【復習】 既習内容を振り返る 【予習】 次回分の教科書を読む	4			
13	【褥婦と新生児のアセスメント】 ①アセスメントの視点 ②事例提示	講義	【復習】 アセスメントの視点をまとめる 【予習】 次回分の教科書を読む	4			
14	【褥婦と新生児のアセスメント】 ③情報整理	演習	【復習】 情報の整理	4			
15	【褥婦と新生児のアセスメント】 ④アセスメント	演習	【復習】 アセスメントに取り組む 【予習】 定期試験に向けた準備	4			
試	本試験(60分) 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	90	0	0	0	0	90
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	客観的評価により知識の定着、理解度を確認する。			試験後、解答の返却および解説の機会を設ける。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他担当教員	小林 萌子						

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

教員の実務経験	総合周産期母子医療センターにおいて助産師として5年の臨床経験を有し、かつ母性看護学および助産学の8年の教育経験を有する者が教授する。
実践的授業の内容	実務経験および実習等での臨床の動向をもとに、講義および演習内容を構築し、さまざまな事例を取りあげながら展開する。
その他	・講義資料は事前に Teams 内に格納します。またレポートの提出や授業のフィードバックなどにおいても Teams や Forms を広く活用します。デバイスの準備（持参、充電）やログインなど自身の準備体制をきちんと整えたうえで授業に出席するようにしてください。